



ことりぐるーぷだより

2026/10/01

5月にタネを植えて、お花を育ててきました。うんどうあそびでは、タネからお花が咲くまでのお花の成長を楽しみたいと思います。ことりさんみんなで大きなタネを作りました。そのタネを転がし、段差やジグザグ道を越えながら、お水をたくさんあげたいと思います。子どもたちの半分ぐらいある大きなタネはバランスもとりにくいです。力加減をしたり、スピードをコントロールしながら進んでいきます。たくさん水をもらったタネは芽が出て芽が伸びていきます。芽が出るのってどんな感じだろう？芽はどう伸びていくんだろ？子ども達の会話を聞きながら考えました。ピアノの音に合わせて、ジャンプしたり、しゃがんだ姿勢から徐々に伸びたり、子ども達のイメージを体で表現してみたいと思います。表現の仕方が違ったり、ジャンプの大きさが変わったりと年齢や学年によって違ったりもします。それぞれの子ども達の違いも見てみてくださいね。最期はお花を咲かせます。ひまわりやあさがお、虹色のお花など子ども達それぞれイメージしているお花もあるようです。どんなお花が咲くのかな、とっても楽しみです。

さくらさんや新入園児さんにとっては初めてでドキドキするお友だちもいると思います。お相手さんやお友だちと一緒に過ごすことで、安心してあそびを楽しんでほしいと思います。ばらさんは昨年度不安だった姿もあったと思いますが、今年度はお友だちやお相手さんと協力しながら頑張ってもらいたいと思っています。そしてゆりさんは最後のうんどうあそびになります。一番大きいお友だちとして練習の時から、切り替えて集中すること、お相手さんをリードしてほしいことを伝えてきました。当日緊張もあるとは思いますが、あそびをリードしてお兄さんお姉さんの姿を見せてくれると信じています。



ゆり

『まじょさんのふしぎなホウキ』

魔女さんからもらった可愛い歌に合わせて、楽しんでいるバンブーダンスですが、遊びを重ねていく中で自分の力や気持ちだけでは、うまく跳ぶことが出来ないことに気づいた子どもたち。

子どもたちだけで取り組む中で、お友だちのためにホウキを動かしてあげる役目もあります。「ひざがいたいよ～」「てをふまはった～」と練習が止まってしまうこともたくさんありました。みんなで『どうしたらうまく跳べるようになるだろう・・・』と話し合い、「ホウキを低く動かしてあげる」「元気いっぱい歌って合わせる」とお友だちのことを思う気持ちが大切！と気づいたゆりさん。少しずつ子どもたちの表情やお友だちへの声掛けも変わってきました。ゆりさんにとっては最後のうんどうあそびの日になります。ひとりひとりがこれまで頑張ってきた力を出しきり、お友だちのことを信じて取り組むバンブーダンスを暖かく見守って頂けたらと思います。

